

第 1 1 回 本庁地区

川合市長と語り合うタウンミーティング

日時：平成 2 1 年 7 月 3 0 日（木）

午後 6 時 3 0 分～ 8 時 3 0 分

場所：クラッセ川越 多目的ホール

対象地区町字名

小仙波町一丁目、小仙波町二丁目、小仙波町三丁目、小仙波町四丁目、小仙波町五丁目、西小仙波町一丁目、西小仙波町二丁目、大字小仙波、新富町一丁目、新富町二丁目、通町、南通町、脇田町、菅原町、仙波町一丁目、仙波町二丁目、仙波町三丁目、仙波町四丁目、問屋町、富士見町、大字大仙波、大字大仙波新田、大字東明寺

参加者

1 性別

男 性	63
女 性	32
無回答	0
合 計	95

2 年齢別

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	計
男 性	0	0	1	3	8	20	31	0	63
女 性	0	2	5	5	9	9	2	0	32
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	2	6	8	17	29	33	0	95

3 職業別

	学生	会社員 公務員	自営業	主婦	農業	その他	無回答	計
男 性	0	7	11	0	3	42	0	63
女 性	0	6	2	20	0	4	0	32
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	13	13	20	3	46	0	95

出席者

市長、大野副市長、石川副市長、広報監、総合政策部長、総務部長、市民部長、福祉部長、環境部長、産業観光部長、都市計画担当参事、建設部長、教育総務部長、事業推進部長

意見数

1 会場

発言者数... 15人

意見内容

分類	件数	内 容	頁
教育・文化	1	・地域学習について	1 1
福祉	1	・引きこもり・統合失調症への理解について	1 0
道路・交通	7	・琵琶橋について ・交通渋滞対策について ・道路拡幅について ・アカシア通りの拡幅について ・寺尾大仙波線について ・アカシア通りの拡幅について ・道路拡幅について	4 5 8 9 1 1 1 3 1 3
環境・衛生	4	・路上喫煙防止について ・雨水対策について ・新河岸川のマコモ対策について ・迷惑自転車対策について	5 8 8 1 5
公園	4	・仙波河岸史跡公園にホタルを ・公園の設置について ・クレアパークに常設ステージの設置を ・小公園の設置について	8 1 1 1 2 1 6
施設運営	2	・やすらぎのさとの葬儀時間について ・市民会館のバリアフリーについて	4 5
災害	1	・自主防災組織について	5
税金	1	・都市計画税について	1 3
その他	7	・斎場について ・防犯対策について ・市民農園について ・ブロックセンターについて ・コミュニティFMスタジオの設置について ・無駄をなくす努力について ・国に対して意見を	4 5 5 8 1 2 1 4 1 5
計	28		

2 ご意見用紙

時間の都合でご発言いただけなかった方につきましては、会場入り口に「ご意見用紙」を設置し投かんしていただきました。

分 類	件数	内 容	頁
そ の 他	1	・タウンミーティングについて	1 7
計	1		

意見交換（要約）

《斎場、やすらぎのさとの葬儀時間、琵琶橋》

意見 川越市の火葬場は亡くなってから 1 週間、あるいは 10 日たってから火葬をするという、非常に長い期間置いたことがあります。それは、現在の火葬場は非常に古く、そして数が少ないものですから、そういう事態が起きると思います。

上尾市や富士見市は数も多く火葬でき、葬儀をしてすぐそこで火葬できるという状況にあると思います。川越では、葬儀が終わってから車で 20 分もかけて行くというところが難点でございます。川合市長さんの決意のほどをお聞かせ願いたいと思います。

それから、やすらぎのさとの時間帯でございますが、現在は、10 時ごろ葬儀が始まるというのが今の状況でございます。開式 11 時は非常に遅い。9 時ごろから始めて、そして 11 時ごろに終わって、あと 3 時ごろやるという、3 回ぐらいの方法ができないかと考えております。周りもそのような方向にありますので、何とかそういう方向に近づけていっていただきたい、ぜひお願いします。

川合市長 斎場は最優先課題の一つとして掲げさせていただきました。ご指摘のとおり、現在ある斎場では能力的に足りないということで、待っていただかなければならない時間がかなり長くなっているということも重々承知しております。

そこで検討委員会を立ち上げまして、他市の斎場を視察いたしました。大変参考になって、いろいろ教えてもらうことができました。

なるべく早くつくりたいという気持ちは極めて強く持っております。他市の斎場はでき上がるまでに約 10 年かかっています。それをもっとうんと前倒しをして、省ける手続は省いてやっていきたいと考えております。ご理解をいただきたいと思います。

清水市民部長 やすらぎのさとの葬儀の時間帯の関係です。この点につきましては、貴重なご意見として重々承っておきたいと存じます。

川合市長 遠慮されてご発言されなかったのですが、以前、琵琶橋の件についてご意見をいただいておりますので、これもお話ししておきたいと思います。琵琶橋は老朽化して危ないということで通れないようになっていきます。あの橋を本格的に架け替えるということになると、90cm ぐらい上に高い橋にしなければならない。水面との距離というのでしょうか、河川法が何かでそうせざるを得ない状況のようです。新琵琶橋と琵琶橋のところにある広い交差点部分全体をかさ上げしなければならないということがあって、なかなか本格的なかけかえが難しい、相当時間がかかる、はっきり言って 10 年ぐらいかかるのではないかという見通しです。そこでとりあえず、来年度に仮設橋をつ

くりたい、来年度しっかり予算を取ってかけるということを考えております。

染谷建設部長 新琵琶橋というのは川越日高線の県道でございます。そこで県は架け替えを予定しているということで、いろいろ調査に入ったわけでございます。琵琶橋についても、迂回路に使えないかなど調査した結果、老朽化しているということで、市と県と警察と協議した中で通行止めにしたわけです。

河川の計画断面というのがございまして、新河岸川が今の断面より堤防が高くなります。今の橋より 90cm ぐらい橋の高さが高くなり、全体的に国道 254 号のところも上げなければならないということで、大変費用のかかる話になりますので、市の琵琶橋と県の新琵琶橋を一緒に施工するような方向で費用を軽減していきたい。ただ、それを待っていると、10 年も通行止めということになりますので、県と協議しながら仮橋をつくらせていただいて、なるべく早い時期に供用を開始していきたいと思っております。

《市民会館のバリアフリー、交通渋滞対策、防犯対策、路上喫煙防止、自主防災組織、市民農園》

意見 市民会館のバリアフリーについて、現在の市民会館は、車いすで入場しようとすると、正面でなく横のスロープから入場することになります。健常者と同じように正面の入り口から入場できるように改修することはできないでしょうか。

交通渋滞が一向に緩和されません。交通渋滞の箇所はほとんど一定であります。例えば市役所、札の辻、松江町、新宿三丁目、新宿北、小仙波などの交差点や川越駅の西口、東口、本川越駅の周辺です。とりわけ私たちにとっては、本川越駅前のスクランブル交差点から通町交差点の渋滞が緩和できると大変ありがたいところであります。

テレビや新聞報道によれば、ひったくり、盗難などの犯罪が増加しているところです。ひったくりなどの防犯に対しては警察の取り締まりとともに、行政による普及啓発を徹底することが有効ではないかと考えております。

川越市路上喫煙防止に関する条例の効果により、路上喫煙やたばこのポイ捨ては一時よりは減少しているような気がします。さらに効果を上げるためには、罰則の適用に力を入れるより、罰則を適用しないための P R や路上喫煙防止パトロールの充実が必要ではないでしょうか。

自主防災組織の結成に力を入れているようですが、役員が高齢化し、希望者も減少しているので結成が困難な状況です。防災意識を高めるためにも、バールやジャッキ、拡声器や懐中電灯、避難用の旗やホイッスル、腕章などを配布することを提案いたします。

農業ふれあいセンター北側に大規模な市民農園が開設されています。この事業は、農業への理解だけでなく食の安全、耕作放棄地の有効利用などの面からも極めて効果的

なものであると考えます。市内各所にこうした市民農園を増設していただくようお願いいたします。

清水市民部長 市民会館も 45 年経過しておりまして、老朽化しているという状況でございます。スロープにする当初、いろいろ検討された経過がございますが、正面玄関からスロープを上げるような形はスペース等の関係で難しい状況でございます。車いすを利用される方につきましては、ご不便をおかけしているという状況でございます。いずれ川越駅西口にそういった新しい施設を考えているわけございまして、新しい施設の場合には、当然バリアフリー、ユニバーサルデザインも十分考慮してやっていく必要があると認識しております。いずれにしましても、現在の状況をもう少し使いやすくする必要がありますので、十分検討させていただきたいと存じます。

平成 16 年に「防犯のまちづくり基本方針」を策定いたしまして、地域の皆様、それと警察と私どもが一体となって防犯に力を入れてまいったわけでございます。おかげさまで、当時と比べますと犯罪件数も相当減少しております。地味な活動ではございますが、今後も力を入れて、地域の皆様と行政とが一緒になって効果的な防犯活動を展開していければと存じます。

西川総合政策部長 市街地の交通渋滞の関係でございます。本市としても長年の懸案課題でありまして、そういう中で、都市計画道路の拡幅工事は少しずつですが進めているところでございます。ただ、事業費等が非常にかかりますので、進み方が遅いというところがあるかと思えます。交差点改良、また道路の拡幅につきましても、国、県、また警察等のご協力をいただきながら事業を推進し、交通渋滞の解消に努めていきたいと考えております。

小川環境部長 路上喫煙防止条例を施行させていただいて、2 年少し経過しているわけですが、おかげさまで、ポイ捨てにつきましてはだいぶ減っているという状況を承知しております。この間、広報紙、ホームページ等での啓発活動や、禁止地域に横断幕や、路上喫煙防止標示のタイルなどを設置して周知をさせていただいております。

ご指摘の路上喫煙防止のパトロールの関係でございますが、現在毎日 2 組 1 班体制で、2 班をお願いしましてパトロールしているという状況でございます。1 年間で 5,000 件前後の指導をさせていただいております。今後さらに効果が上がるようにパトロール等も実施をし、また周知に係る啓蒙等もさせていただきたいと考えております。

佐藤総務部長 防災用品の配布に関しましては、自主防災組織が結成されたときに補助金を交付するとともに支給しておりまして、さらに活動する際の活動補助金や、防災倉庫設置補助金等につきましても交付をしている状況でございます。

自主防災組織は、151 組織が結成されておりまして、自治会が 289 組織でございますので 60%に達しております。自治会にただ単に防災用品を配るのではなく、まず組織化をしていただいて、役割分担等をしていただく中で、防災用品を活用していただきたいという趣旨でお配りをしている状況でございます。

自主防災組織は自治会ごとに防災組織をつくるという方法もございますが、いくつかの自治会で一つの防災組織をつくることも認めており、そういったところに対しても補助金を出しております。職員をご相談にお伺いさせますので、ぜひ自主防災組織の結成をしていただいて、いざというときに地域の方々に役立つような組織にしていいただければ、市としても非常にありがたいと考えております。

戸来産業観光部長 市民農園の需要が高まっておりまして、市内でも農家の方から土地を借りて野菜等をつくっておられる方々がいらっしゃいます。

農業ふれあいセンターは、市の直営で農園をやっているという形ですが、そのほかに、農業者と利用者とは直接契約を結んでやるという方法もございます。ここで農地法が改正になりまして、今後、農地の賃貸借ができるようになります。我々としても、その辺のところを何らかの形で支援して進めていきたいと考えております。

市としては 10 年ごとに農業振興計画をつくっておりまして、平成 21 年の 3 月に策定いたしました。その中に市民農園の増設もうたっております。市でも、市民の方が農地を借りて野菜等を耕作することができるように進めていきたいと思います。

川合市長 渋滞解消についてですが、交差点改良という方法を中心に考えております。それと、一方通行化することによって渋滞を解消するという手法も、余り費用がかからないで比較的早期に実現できる方法だと考えておりまして、今はその両方で、早急に改善しなければならない部分に対応していきたいと考えております。

自治会に防災用具をとということですが、自主防災組織には、トランジスタメガホンとかロープとか懐中電灯、非常用のろうそく、そういうものを支給させていただいておりますが、この中には、ジャッキとかバールというのは入っておりません。これは私の全くの思いつきですが、皆さん車を持ってらっしゃいますよね。車の中には必ずジャッキやレンチみたいなものが入っていて、いざとなったら、そういう身近なものを活用するということも考え得ると思えます。市で配布するかどうかは、検討はさせていただきたいと思います。

市民農園につきましては、比較的貸し借りがしやすくなりますので、検討していきたいと思います。ただ、市が農家から借りてお貸しするような場合に、水道設備などの問題もあるということをご理解いただきたいと思います。

《ブロックセンター、雨水対策、仙波河岸史跡公園にホテルを、新河岸川のマコモ対策、道路拡幅》

意見 仙波氷川神社の北側に川越市の土地がございます。この土地を利用してコミュニティホールであるとか、あるいはブロックセンターというようなものを設置していただけないかということで、平成 15 年の 2 月に陳情いたしました。その後、返事がないので、何度か様子をお伺いしたところ、そういった箱物の計画はないというつれないご返事をいただきました。

旧滝ノ下終末処理場への新河岸川の下を抜けている下水管が細いようで、豪雨のときには、仙波町 4 丁目のマンホールや側溝が吹き出して、水害となっている現状でございまして、これを何とか解消してくれないかということでございます。

仙波河岸史跡公園がありますが、ここがホテルが飛ぶような公園にはならないんだろうかということでお願いをしたいと思っています。

新河岸川の大仙波地区の付近でございしますが、中州にマコモが増殖しまして、これが川底を上げているようなので、豪雨のときには下水が逆流して、これもまた水害となっているということで、対策を要望したいということでございます。

国道 16 号の仙波町交差点より南田島地区を結ぶ道路の幅員が狭く、特に通勤時間帯に、ここを抜け道として通る車が多いようでございます。交通事故もふえているので、道路の幅員を広げていただけないかと思えます。

西川総合政策部長 ブロックセンターの関係でございしますが、平成 15 年に陳情書を提出していただいております。その際に市長とお話し合いをしていた経緯があるという形で伺っております。

第 2 次総合計画の後期基本計画の中で、それまでのブロックセンターというものを、地域の住民の方が気軽に集える地域ふれあいセンターの建設という見直しをしてございます。第 3 次総合計画の前期基本計画の中でも、地域ふれあいセンターという位置づけをしてございます。その中で建設を予定している地域ふれあいセンターは、東部のふれあいセンターと大東地区のふれあいセンターということで計画の中には規定をしてございます。仙波 4 丁目のブロックセンターにつきましては、今、計画の中にはございませんので、ご理解をいただければと思います。

泉事業推進部長 中心市街地、約 827ha の汚水と雨水が終末処理場や新河岸川で処理されております。集中豪雨において、マンホールや側溝部から雨水が吹き出すことがありますが、これら道路冠水等の水害につきましては、下水管渠の能力不足や新河岸川の水位が関係するものと考えられます。

上下水道局としましては、集中豪雨時に上流区域での雨水を貯留する施設などを設置し、下水管の能力確保などを検討し対応していきたいと考えております。

新河岸川の下に入っている管渠につきましては、平成 2 年に改良いたしました。縦が 1,150、横が 1,150 という管が三つ並んだ形に改良しておりますので、管の問題ではないと思われます。

相原都市計画担当参事 仙波河岸史跡公園はわき水と湿地、それと樹林地といった大変自然豊かな環境が残っておりまして、市内でも貴重な存在となっております。

ホタルの件でございますが、えさとなります巻き貝を繁殖させるといった、ホタルがすみ着くような水辺環境をつくりだし、さらに維持していくという必要がございます。そのためには地域の皆様のご協力が不可欠ですので、今後皆様とともに研究してまいりたいと存じます。

染谷建設部長 大仙波地区の新河岸川に、自分の背より高いような草が河道敷に生い茂り、流れを阻害するという事だと思っておりますが、この新河岸川は一級河川でございます。埼玉県でございまして、埼玉県の管理でございます。早急に埼玉県のほうに処理をどうするのか聞きまして、浚渫等を考えていただくように要望してまいりたいと思っております。

国道 16 号と川越志木線の関係、国道 254 号バイパスの間の道路だと思います。この道路は、市道 0042 号線という川越市の幹線道路という位置づけになってございます。市としては歩道付きの 12m ぐらいの道路を考えておりますが、地権者と協議しながら今後進めてまいりたいと思っております。

川合市長 仙波河岸史跡公園をホタルの飛ぶ公園にという点がございましたが、自治連合会の会長さんから、一度、あそこにホタルを飛ばそうとしたけれど、カワニナがザリガニに食べられてしまってうまくいかなかったというお話を聞いたことがあります。自治連合会のほうでもホタルを飛ばすような公園にしたいというお考えをお持ちのようですので、連合会とも協力し合いながら前向きに検討してみたいと考えております。

《アカシア通りの拡幅》

意見 前々から不思議に思っているんですが、アカシア通りは一部道路拡幅ができてないわけですね。市役所に行って、強制執行でもしない限り無理じゃないのかということを書いてきたんですが、ことしになったら知らない間に、買収して壊さなければいけないと言っていたビルが開店しているわけですね。メインストリートなのに後回しになって、ますますやりづらくなった状況をこしらえているような感じがするんです。なぜ、このような状況と結果になったのかということ、ご説明願いたいと思っております。

染谷建設部長 事業認可を取って事業を進めている段階で、一部いろいろな条件があっ

て買収に至っていないというのが現状でございます。あくまでもまだ地権者の方の土地でございますので、それを第三者に貸す云々というのは、貸さないでくださいとお願いはできますが、市としては貸せませんよとは言えません。

意見 営業権がついて、ますます買収しにくくなるんじゃないですか。

染谷建設部長 おっしゃるとおりですが、今の段階では、貸してはだめだということは言えません。代執行という話もありました。その辺も当時の担当は考えたことがあると思いますけれども、なるべくそういうことのないように交渉していきたいと思います。

意見 別の方の話を聞いても、結局市のほうが話し合ってくれないと。市に協力したいんだけど、市のほうが来ないと。なぜなのか。もうちょっと積極的に、物事に対して優先順位をつけて、集中的に話し合いをして、交通渋滞の緩和をするような状況に持っていく必要があるんじゃないのかと思います。

染谷建設部長 今のお話のように、話をする用意があるということでございますので、早急に話し合いを再開していきたいと思います。

《引きこもり・統合失調症への理解》

意見 引きこもったまま長い年月を過ごしているという方々はなかなか表に出てこれない。そういう中で川越のやまぶき会は指導してきたんですが、やはり限度がある。どこへ行っても理解がない。自立するために家を借りようとしても、マンション管理人とか賃貸借の業者さんが、そのことを知ると数倍の家賃を言ってくる、あるいは拒否される。表に出てこれない青少年、あるいは親御さん、子どもに殴られてあざだらけになった人も何人か私どもの会に来ております。そういうことに思いをはせていただいて、どうぞよろしくご支援のほどをお願いしたいと思います。

吉野福祉部長 引きこもりとか統合失調症とか、そういう方への理解という点のお話かと思います。住宅の問題等もありましたけれども、皆さんがそういう方に対して理解があれば、借りるに際してもやりやすいだろうと、そういう理解を深めるための政策ということかと思います。川越市では、いわゆる精神疾患の場合に、保健、医療的な部分については保健所、福祉サービスについては福祉部で、部が二つに分かれている状況がございます。今後いかに連携していくのか、その辺が課題かと感じております。

意見 パンフレットも保健所とか市役所に置いておくだけではなくて、たまには広く全市民に配るとか、打って出る政策をお願いしたい。内部で保健所とどうこうだということのも恐らくあると思うのですが、その壁を破ってひとつ進んでいただきたい。広報紙なんかにも出ておりますが、まだまだインパクトが弱いと思います。

川合市長 引きこもりの方あるいは統合失調症の方に対する理解を深める、正しく理解

する啓発をしてほしいというご趣旨だと思います。極力それは市としてもやっていきたいというふうに考えますので、具体的に何ができるかをこれからきちんと検討しつつ進めていきたいと考えますので、ご了解いただきたいと思います。

《寺尾大仙波線》

意見 仙波 4 丁目の終末処理場の東側から砂中学校の間は立派な道路ができていますが、どうもその道路が中途半端に見えてしょうがないんです。今後この道路がどのように計画されているのか、そこをお伺いしたいと思います。

染谷建設部長 寺尾大仙波線という都市計画道路だと思います。今年度からですが、南の川越木野目線という県道まで事業認可を取って事業を進めていきたいということで、そのエリアの建物調査を実施していきたいと考えております。その後、北にもぜひ事業認可を取って、警察まで接続していきたいと考えております。

《公園の設置》

意見 郭町の浄水場の東側に、町中では珍しい湿地帯が 1,300 坪ぐらいあるわけです。今も清水がわいております。前々からあそこを公園にするという話があり、昨年度にボーリングをして、ことし計画を立てて、来年度に実行するというふうなお話があり、喜んでいたんですが、6 月の初めに問い合わせたら、予算がつかなかったということなんです。あそこは湿地帯で、大きい建物はとてもじゃないけどできませんから、清水がわいている自然な公園を、余りお金をかけないでできるんじゃないかなと思っていますので、ぜひ実行していただきたいと思います。

相原都市計画担当参事 小仙波 2 丁目の公園のご要望でございます。昨年度に建物が建つかどうか、地盤調査というのを行わせていただきました。今後につきましては、まず打ち合わせの場を設けまして、その持つ自然や周辺の社会的環境や、そういったものを生かした公園のあり方というものを皆様とともに検討してまいりたいと考えております。その節は皆様のご協力をぜひともお願いしたいと考えております。

《地域学習》

意見 観光客も全国からふえてきましたが、外から来るお客さんよりも我々のほうが川越の歴史だとか文化とか伝統といったことに無知なんじゃないかなという気がします。特に大学生とか留学生もたくさんいらっしゃいますけれども、彼らは時の鐘すら見たことないなんていうのが現状で、それはとっても悲しいことだなと思います。

例えば小学校から大学まで、今以上に川越の地域学習とか地元学とかを積極的に学習していただいたり、地域との交流の場を設けたり、ボランティア活動に参加して、地域住民、中高年の方との交流を図れないかと思っている次第です。

有山教育総務部長 郷土を学ぶということでは、かなり前から川越学ということでやっておりまして、市の冊子の中でも展開していますが、なかなか全体には通じていない部分があると思います。また、大学生の方も、北海道から九州、また留学生の方々がいても、第二のふるさとである川越は知らないということがあります。市内 14 地区にある子どもサポート関係では、大学生の支援も受けながら、一緒にボランティアとして参加をいただいていますから、そういう枠を広げて、今おっしゃられたような政策についても今後充実させるように検討してまいりたいと思います。

《クレアパークに常設ステージの設置を、コミュニティFMスタジオの設置》

意見 クレアモールを中心にした近代的ショッピング街は、昼間の来外客がここ数年ずっと減ってきています。川越の一等地であるクレアモールのお客様が減ってきている。

それに関しまして、宇都宮のオリオン通りという北関東第一の商店街が、郊外に大型店が出たために、5 分の 1 ぐらいに商店街の通行客が減ってしまったんです。そこで、商店街に面した広場に芸術的なものを用意できるようなステージをつくって、そこを宇都宮のいろんなものを紹介する場所にしていっていかげなものであるかということで、ジャズのまち宇都宮、あるいはカクテルのまち宇都宮で、金・土・日にそういうイベントを始めましたら、昨年からことしにかけて人がふえました。

川越というまちにも、文化が少ない部分を、クレアパークの奥に常設のステージをつくり、そしてヤマザキ時計屋側にサテライトスタジオ、いわゆる「つばさ」みたいな FM コミュニティスタジオを、私はぜひともあそこにつくっていくべきだと思います。

FM コミュニティスタジオは川越にないわけです。所沢市、狭山市、和光市、志木、みんなあるんです。私も総務省にかけ合ったんですけども、2011 年にデジタル化するので、それまでは周波数を与えられないということでした。2011 年に周波数をもらえるのであれば早速それをやってほしい。いろんなイベントができる。若者に音楽の会場を提供することもできる。そうすれば来外客はまたふえてくると思うんです。費用対効果で言えば一番効果があるのはクレアパークの改造だと思います。

市長 宇都宮の例等を挙げてご提案をいただきましたので、それはどういう方法がとれるか検討していきたいと考えております。

中心市街地活性化の計画が国から認定され、地域の皆様方のご協力をいただきながら活性化を図っていききたいと考えておりまして、その一環として、クレアパークについてもご提案をきちんと受けとめて検討していきたいと考えております。それと FM 局について検討はさせていただきますが、今の私の考えとしては、できればどなたか民間が主導でやってもらえればありがたいと感じております。

《アカシア通りの拡幅》

意見 先ほどのアカシア通りの話ですが、アトレのほうから来ますと、入るとすぐ車道のほうに電柱が立ってるんですね。あれは非常に危険だと思うんです。既にかかなりの時間がたっているわけですから、ああやって工事を延ばしてたんじゃどうしようもないなと思ってます。私のところなんかは、日曜なんかは全然通れないんです。商店街のほうへ行くには 10 分も待つようなんですよ。横切る道路がないんですね。向こう側へ行く小さい道路をつくってくれないかと言ったら、もうこの通りはそういう歩道はこれ以上つくれないと言うんです。道路そのものがないんですから、そういう歩道ができるわけではないんですけれども、将来もできないと言われたんです。向こうの角まで行って戻ってこなければ通れないと言うんです。そんなことはないと思いますので、その辺のところをぜひお願いしたいと思います。

染谷建設部長 先ほどもお答えしましたように、地権者の方と誠意を持って話し合いをして、なるべく早い時期に買収できるように努力したいと思います。

意見 一部のために 40 年かかっているわけだから、これから何年という期限を切って、1 年後にやりますとか、答えられませんか。

染谷建設部長 地権者がおりますので、その条件になるべくお互いが歩み寄ってやっていかないと難しいと思いますので。

意見 強制撤去ということがあるんですよと私は言ったんですけどね、そういうことは聞いてませんと言われたんですよ。

染谷建設部長 確かに収用法でできます。そういう法律がございます。ただ、そういうことではなく、話し合いによってご理解をいただければと思っております。

川合市長 アカシア通りの件については、なかなか全面的に広がらないで、地元の皆様方にご迷惑をおかけてしているということは重々承知しております。

今、建設部長から話がありましたように、強制的な力を使うというのはいろんな意味でしこりを残すということもございまして、最後の最後まで用いたくないというのが自治体の考え方で、私もそのように考えております。何とか早く話し合いで協力いただけるよう鋭意努力いたしますので、その辺についてはご了解をいただきたいと思います。

それと、電柱の件については、危険が感じられるということであれば、周りにコーンのようなものを置いて近寄らないような措置を講ずるとか、警察もかかわることですので即というわけにはいかないかもしれませんが、対応したいと思います。

《道路拡幅、都市計画税》

意見 平成 13 年に通町の交差点から小仙波のほうへ抜ける道路を広げたいので協力願

いたいということでお話を伺ったんですけれども、来年やります来年やりますと、とうとう8年過ぎました。地権者の方たちがだいぶ高齢化しておりますので、強力的に進めていただきたい、こんなふうをお願い申し上げたいと思います。

私はこの件について思うんですけれども、都市計画税が今、たぶん0.2%だと思うんですが、市長がこの12年間で、任期中に川越を安心、安全な暮らしができるこんなまちにしたいんだと、そのため12年間は都市計画税を値上げさせていただきたい、こんなことをお願いしながら、市民の了解を得ながらぜひ都市計画道路を強力的に進めていただきたい、そんなふうに思っておりますので、ぜひお願いを申し上げたいと思います。

川合市長 おっしゃられたとおり、きちんと計画を立ててまちづくりをやっていかなければならないということは十分承知しております。都市計画税の問題につきましては、市民の方あるいは大学教授の方に集まっていたいて、有識者懇話会というところでご意見をいただきながら検討を進めさせていただこうと考えております。

市の貯金である財政調整基金が今年度末で5億円しかないような状況や、職員の退職積立基金から20億円借りて予算を組んだという状況がございます。そういう状況の中で、今までなかなか道路が進んでこなかったという現状がございます。

道路に関しては、渋滞緩和を含めて積極的にやっていきたいということを申し上げて選挙に出させていただきましたので、その辺のところは財源を考えながらきちんと進めていきたいと考えている次第です。そのための財源として都市計画税の税率の問題も検討に入っているというところで、ご理解をいただきたいと思います。

《無駄をなくす努力》

意見 市長さんや副市長さんの給与削減だとか、それから長寿祝い金の支給を改定したとかいうお話があって、そういうお話もよくわかるんですけれども、市から出る印刷物の数が非常に多いということと、広報についても各家庭に配られている上に、施設に何部か置いてあるんですよね。部数をむやみにつくるとかやめて、それともう一つは、キャンペーンとか物品を配ることがあるんです。そういう物は極力抑えたほうがよろしいんじゃないかと私は思うんですけれども、給与を減らしたとか、長寿者の祝い金を減らしたとだけではなくて、どういうところでむだをなくして、財政面で少し苦しくともやっていくという意思があるのか、その辺をお聞きしたいと思います。

川合市長 今のご意見は全くごもっともであると思います。あらゆる面でむだをなくす努力をしつつあるとご理解いただきたいと思うんですが、市の内部においても残業を圧縮するように指示を出しましたし、今まで出ていた職員に対する諸手当の見直しも現在行って、組合と交渉をしているところでございます。

例えば職員のクラブ活動に対する補助というのが、金額的には年間 160 万円ぐらいですが、クラブの決算書類を出してもらって、こんなに要求するなという指示を出したり、そういうことにも気を遣ってやっております。一度にすべての分野について目を通すというわけにはいかないのですが、一つ一つむだを省くための努力をしているというところで、ご理解をいただきたいと思います。

《国に対して意見を》

意見 中央の行政の結果、市民が困ったり市の職員が余計な手間をかけられることに対して遠慮なしに意見を中央に出していただきたいということを強くお願いしたいと思っています。後期高齢者医療制度は、県の広域医療というところが実施主体になりますが、実務はほとんどが市町村の職員の肩にかかってきて、市の職員のところに苦情が集中します。しなくていいことを中央のでたらめのためにやらされている。こういうことが、年金にしても医療関係にしてもいろいろと出てきております。

市議会にもこの問題を持ち出しました。しかし市民の真意が市議会を通じては中央に行きにくい、これが現状です。

どこぞの県知事などがやっているような芸能人張りの派手なことではなくて、具体的に市民の実情をつかんで、こういうことで市民生活をないがしろにされては困るというような意見を、この機会にお願いしておきたいと思います。

川合市長 国の施策に振り回されている面、市の職員が苦勞しているという面それは確かにございます。国に対しても、おかしいものはおかしいときちんと述べていきたいと考えております。

先週、中核市市長会という会議に出て行きましたが、高松市であるとか松山市であるとか大分市の市長さんは、やはりきちんと国に対して物を言っていくべきだというスタンスで、地方分権の問題についても、しっかりと意見を述べていこうと、中核市の市長会でも確認をしてきました。ぜひ言うべきことは言っていきたいと考えます。

《迷惑自転車対策》

意見 駅前のマイン利用される方用の駐輪場というものがあるんですけども、ご利用にならない方、通勤、通学の方の自転車が大変多く、とても苦慮しております。

あの地域は一応私有地ということでゼブラゾーンを設けて、災害時の避難路として使うはずなんですけれども、たくさんの自転車、バイクが置いてあります。私有地にありますので移動させていただいたり、進入防止の柵をつけたりして排除しております。

ただ、東側のところ、前にシャトルバスのバス停が置いてありました付近一帯には、たくさんの自転車が置いてあります。本当は市の立体の駐輪場をお使いいただければ一

番よろしいかと思うんですが、皆さんご利用にはなってないようなので、あちらの自転車は今後どのように市のほうで対応していただけるのか。

シルバーさんが来て、朝、とめないでくださいということをおっしゃったり、撤去移動しているようなんですけれども、あそこにとめなくちゃいけないという方がとても多いと思うんですね。そういう方々の自転車をそのように持っていった場合その方も困ると思います。今後どのように対応していただけるのかお聞きしたいなと思います。

清水市民部長 違法駐輪といいましょうか、通行に支障があるという点は承知してございます。しかし、民地の場合ですと、その所有者の方の協力、これが第一義的に必要なわけでございます。公共の場所につきましては、それぞれ確認いたしまして、自転車の整理、撤去、そういったことで進めているところでございます。問題が解消されないということ、これが一番問題なわけございまして、安全安心生活課に状況について改めて確認させまして、それで効果的な対応を図ってまいりたいと思います。

《小公園の設置》

意見 体が弱くて、ひとり住まいの方が非常に多くなっています。老人会では友愛活動が重要な項目になっております。ひとり住まいの家を訪問したり、どこかに出ましようよといっても行くところがないんですね。したがって、各町内に小公園でもあればどうか。公園というものが少ないのではないだろうか。観光客の休憩所、そういうのもいいじゃないですかというのも引くるめて、これからの公園のあり方、その辺をお聞きしたいなと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

相原都市計画担当参事 川越市には、街区公園ですとか近隣公園といった公園が 234カ所ございます。本庁地区におきましては 33カ所、1人当たりの公園面積は 1.17 平方メートルという少ない状況でございます。何か小公園をということでございますので、また持ち帰って、その辺につきましては検討させていただきたいと思います。

川合市長 都市計画部からお話がありましたように、市民 1 人当たりの公園の面積が、ほかの自治体に比べて少ないということは認識しております。ただ、公園をつくるということに関しては、短期間で対応することはかなり難しいということについて、大変申しわけございませんが、ご了解いただきたいと思います。

行くところがないということですが距離的には離れてしまうかもしれませんが、例えばオアシスであるとか後楽会館とかは、一定の年齢以上の方はたしか無料で利用できると思います。多くの人に積極的に行っていただきたいと思いますので、ぜひそういう施設も活用していただきたいと思います。

ご意見用紙に対する見解

- タウンミーティングでは、女性の意見も積極的に取り上げてください。公正な行政には欠かせません。

【見解】タウンミーティングの開催にあたりましては、より多くの方々にご参加いただけるように、広報、ホームページなどでPR活動をし、開催場所も市内各地区に設定させていただきました。また進行方法につきましても、気軽にご発言いただけるように、限られた時間の範囲内ではありますが、自由に意見交換ができるような場を設定させていただきました。しかしながら、ご指摘のとおりご参加いただいた方の男女比率を見ますと、女性の割合は少ない状況でございます。

今後の広聴活動におきましては、今回の経験を活かし、男女問わず、より多くの方々にご参加いただけますよう工夫してまいります。